

AICHI GAKUIN UNIVERSITY

# AG PRESS

大学だより

Aug. 2016 [vol.200]



〔創刊200号記念特集〕

A History For The Future

## 「これから」を創る 学びの記憶

TOP MESSAGE

大学だより200号に寄せて

シューカツの現場から

就活の秋

### 120周年記念時計塔 (日進キャンパス)

正門のアーチをくぐりキャンパスを進むと、空に向かって堂々と聳える時計塔が目に見え込んできます。創立120周年を記念して設置されたこの時計塔は、学生たちのこれからを創る“学びの時”を刻んでいます。

# 巻頭言

## 大学だより2000号に寄せて



愛知学院大学 学長 佐藤 悦成

### 発展する学びの姿を共有する。

昭和51年5月1日創刊の本誌は、今号で2000号を迎えます。創刊時より新聞形式の『大学だより』として親しまれてきました広報紙を、昨年、写真を多用した冊子形式に衣替えして、大学の折々の情報を皆様にお届けしたいと『AG PRESS』の呼称を加えました。情報を視覚から取り入れて理解に結びつける誌面に変更したことで、より大学の現況が身近で解りやすくなったと思っています。皆様にご覧いただく表紙には大学の風景・施設を配し、本学の魅力をアピールする狙いがあります。すべての学生諸君が、楽しく有意義な学生生活を送りつつ、自分の長所を大いに伸ばして可能性に挑戦されることを切に願っています。



### 能力と可能性を開花させる 実践的な教育を実現。

学校法人 愛知学院 理事長  
中野 重哉

新年度から4か月余り、新入生の皆さまもようやく学院の水にも慣れてきた頃でしょうか。卒業年度生はいよいよ就職活動において重要な時期を迎えます。昨今の日本経済界は変化の激しい時代環境を強いられ、高等教育には社会の急激な変化に伴う人材需要への即応と、質の高い人材育成が求められております。今後は産学連携をより促進し、実践的な職業教育を推進することで個人の能力と可能性の開花を実現していきたいと思っております。

### 成長の歩みに感謝し さらなる飛躍発展を願う。

学校法人 愛知学院 学院長  
小出 忠孝

本学の広報誌「大学だより」が昭和51年に創刊されて以来40年、記念すべき2000号発刊を心よりお祝いします。本学は40年前に創立百



周年記念として、本部のある桶元キャンパスから名古屋市郊外の日進キャンパスに歯学部を除く文・社会系学部を移転。15万坪の広大な敷地に、新しく教育研究関係・運動関係の諸施設、学生駐車場を新設し、新郊外型大学として好評を得ました。その後も時代の変化に応じて、次々と新学部・学科を増設し、現在は大学9学部16学科・大学院8研究科、短大1学科に学生二万二千名を擁する総合大学に成長しています。さらに近年は都心回帰の傾向から、名古屋市中心の名城公園キャンパスにビジネス系3学部を進出させています。戦後設立の大学がこのように急成長してきたのは全教職員、保護者、学生、同窓生のご支援のおかげですが、さらなる飛躍発展のため関係各位の一層のご支援をお願いする次第です。



### 「親子入学」の理念のもと 積極的な支援を継続。

後援会 会長  
水野 和夫

大学後援会は父母と大学と学生を繋ぐ組織として、昭和28年の大学設立と同時に発足しました。以来、学生さんを保護者の立場から支援する活動が続けております。この愛知学院には、子どもの入学と同時に親も気持ちの構えで「一緒に学んで行きましょう」という「親子入学」という理念があります。この素晴らしい理念と伝統を有する愛知学院がますます発展しますように、今後も積極的に支援を続けて参ります。

特集

AG vol.6  
REPORT

創刊200号記念特集

*A History For The Future*

1976  
2016

# 「これから」を創る 学びの記憶

愛知学院創立100周年を迎えた1976年、  
学生保護者と教職員に向けて創刊された「愛知学院大学だより」。  
以来、40年間の長きにわたり学び舎の「今」を発信してきました。

大学だよりの歴史は、そのまま学びの記憶。

中部地区最大級の総合大学として、時代のニーズに合わせて

進化を続けるその歩みを、大学だよりとともに

振りがえりたいと思います。



大学だより  
102号



102号では、「創立120周年記念グラビア」を掲載。

創立110周年記念式典の  
様子を伝える52号。



大学だより  
52号

## 建学の精神に基づく 学びの礎を築いた時代。

愛知学院大学は、創立100周年を節目として

日進キャンパスの開設を柱とした

教育環境の整備・拡充を推進してきました。

1976年から2005年までの30年間は、主に教育内容の強化を図り、

現在の9学部16学科・大学院8研究科・短大1学科を擁する

研究・教育機関としての礎を築きました。

1985

1980

1976

### 一 学びのあゆみ

HISTORY of AICHI GAKUIN UNIVERSITY

大学だより  
創刊号

1976

●前年に移転した日進キャンパスに  
「100周年記念講堂」が完成。  
「調和と躍進」をテーマに

創立100周年記念式典を挙行。

1977

●「坐禅堂」開単とともに「禅研究所」を開所。  
日本で最初の大学内に開かれた坐禅堂として、  
建学の精神「行学一体・報恩感謝」の実現をめざす。



1984

●100周年記念講堂のロビー壁面に  
「釈尊伝四部作」が完成。旧愛知中学  
の卒業生であり、洋画壇の重鎮だった伊  
藤清永画伯（故人）が7年余りの歳月を  
費やして完成した。



降誕



降魔成道



初転法輪



涅槃

1986

●文学部国際文化学科（2015年4月、英語英米文化学科に名称変更）増設。  
昭和の時代に、その名称の先進性はもとより  
国際コミュニケーション能力の育成というユニークな教育方針が注目を集めた。

1988

●楠元キャンパスに「110周年記念講堂」が完成。  
●文学部日本文化学科増設。



大学だよりの創刊号。  
当初はモノクロ版でスタートした。



1994 エベレスト登頂に成功

「愛知学院大学エベレスト登山隊1994」が大学山岳部としては初めて、エベレスト登頂に成功！



大学だより  
91号



山岳部のエベレスト登頂成功報告会

2002 ●法学部現代社会法学科が増設。

2003 ●文学部から分離独立する形で新たに心身科学部心理学科を開設。

1990

1990 ●経営学部経営学科増設。

1991 硬式野球部が「第22回明治神宮野球大会」にて全国優勝！

1992 ●公開講座・ラジオ放送公開講座を開講。

1995 ●AGUスポーツセンター完成。

1996 ●創立120周年記念時計塔設置。



悲願の日本一を決めた  
歓喜の瞬間  
(中日スポーツ 平成3.11.13)



大学だより  
78号

2000

1998

●情報社会政策学部情報社会政策学科(現総合政策学部総合政策学科)を開設。「IT革命」という言葉が盛んに使われるようになり、新学部学科の増設や、コンピュータ導入などによる教育・研究環境のさらなる充実が進められた。

2001 ●歯学部附属病院南館が完成。

●エクステンションセンター開設。

2004 ●心身科学部健康科学科を増設。

2005 ●薬学部医療薬学科を開設。  
翌年、6年制に移行。

2005



大学だより  
124号



大学だより  
199号大学だより  
197号

2015

●大学だよりがリニューアル。

「AG PRESS」としてA4版冊子に。

## 「これから」を先導する 多彩な人を育む時代。

社会のグローバル化に伴い、  
愛知学院大学は多種多様な人や  
文化地域社会とのつながりを意識した  
クロスオーバー型教育を推進。  
次代を先導する人材育成を  
実現しています。



2016

2010

2006

2016

- 国の登録有形文化財である楠元キャンパスの法人本部棟の耐震化工事が完了。故・伊藤清永画伯の「釈尊伝四部作」を原画とするステンドグラスが新たに設置された。
- 創立140周年を迎える。



●日進キャンパスの図書館情報センターに「学びの交流」をコンセプトにしたラーニング・コモンズが新たに設置。

- ジャーナリストの池上彰氏、  
本学特任教授に就任。
- 経済学部経済学科を設置。
- 名城公園キャンパスが完成。
- 商学部、経営学部、経済学部を日進キャンパスより移転。



池上彰氏

2013

2011

2008

2007

2006

- 東日本大震災の復興支援ボランティアを派遣。
- 心身科学部健康栄養学科を増設。
- 文学部グローバル英語学科を増設。
- 短期大学部歯科衛生学科を増設。
- 「これからの日本経済」をテーマに特別講演会を開催。
- トヨタ自動車株式会社相談役の奥田碩氏を迎え、創立130周年記念式典を挙げる。

大学だより  
152号

洗練されたデザインの名城公園キャンパス。  
照明や環境、オフィスデザインの  
分野において受賞もしている。



被災地の支援をするボランティア派遣は今も  
継続。毎年8月に岩手県大槌町・住田町で活  
動を行うほか、被災者の心と身体のケアに携  
わるなど、学びを活かした支援も。



# 愛知学院大学を訪れた著名人たち

愛知学院大学は、国内外から高い影響力をもつ著名人を招聘。

学生の視野を広げ、見識を深める機会を多く設けています。



## ビル・クリントン氏

アメリカ合衆国第42代大統領

2004年、大学開学50周年を記念した特別講演会に、ウィリアム・J・クリントン元大統領を招聘。本学関係者のほか、1万5,000人の応募者から選ばれた250名の聴講者が100周年記念講堂に集まり、クリントン氏の言葉に耳を傾けました。



## ダライ・ラマ法王

2015年にチベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世を迎え、「仏教の智慧に学ぶ」と題した特別講演会を開催。本学特任教授でジャーナリストの池上彰さんとも対談しました。

## 橋本龍太郎氏

第82・83代内閣総理大臣

1991年、当時の大蔵大臣であり、愛知学院大学山岳会名誉会長でもあった橋本龍太郎氏を招聘し、「21世紀への展望」と題した特別講演会を開催しました。



### 大学生のための 特別講演会

本学学生に向けて「元気に本気でヤル気を持って学生生活を過ごす」ことを目的に、各界の著名人を招聘して開催した講演会では、自身の人生経験を交えて熱く語ってもらいました。



### 福澤朗氏

フリーアナウンサー

テーマ  
「学生生活と  
コミュニケーションテクニック」



### 東国原英夫氏

前宮崎県知事

テーマ  
「ピンチをチャンスに」



### 林修氏

予備校講師

テーマ  
「いつやるか?今でしょ!」



### 鳥越俊太郎氏

ジャーナリスト

テーマ  
「鳥越流!  
ポジティブな人生の歩き方」



### 安藤美姫氏

元フィギュアスケート選手

テーマ  
「あきらめない!  
～安藤美姫ストーリー～」



### 茂木健一郎氏

脳科学者

テーマ  
「脳と創造性  
～自分を輝かせるための秘訣～」



キャンパス発、旬のトピックスをご紹介します。

## フィンスイミング日本選手権大会 鈴木貴大選手が優勝、日本記録樹立

TOPICS  
01



5月4日(水)～5月5日(木)に神奈川県横浜国際プールで開催された「第28回フィンスイミング日本選手権」において、水泳部の鈴木貴大さん(法学部現代社会法学科4年)が200mJビートの種目において優勝し、日本記録を樹立しました。また、高丸真哉さん(法学部法学科3年)は、200mCAMSビート種目において10位の成績を収めました。今後も競泳とフィンスイミングの両種目での活躍を期待しています。

## シンクロの吉田萌選手が スペインオープンで金メダル獲得!

TOPICS  
03



7月1日(金)～3日(日)にスペイン(アリカンテ)で開催された「スペインオープン」に水泳部の吉田萌さん(文学部国際文化学科3年)が出場し、チーム競技(8人制)、フリーコンビネーション競技(10人制)の2種目で優勝しました。帰国後、佐藤悦成学長に大会結果の報告をし、「応援ありがとうございました」とさらなる高みを目指して、強い意気込みを述べてくれました。

## 名城公園北に来春オープンする 営業施設と包括協定を締結

PBL 演習等)

■その他産学連携活動に寄与する事項の推進

■今後は、来春の営業施設オープンに向けて協力を進めていきます。

名城公園(北園)に来春オープンする営業施設を活用し、名城公園に集う人や団体の健康増進や地域社会の発展を支援することを目的とした産学連携包括協定を、6月13日(月)、アイランド・シー・コーポレーション株式会社と締結しました。本学は施設に隣接する立地を活かして、次の5領域で継続的に連携及び協力をします。

■市民・団体等の健康増進活動に係る助言、指導及び協力メニュー開発、食育指導、健康指導等

■市民・団体等への生涯学習、継続学習機会の提供(ランニング・セミナー、坐禅会、公開開放講座等)

■営業施設等の運営に関する共同調査、共同研究(利用者の利便性向上に向けたサービス等)

■営業施設等でのアクティブラーニングの推進(学生のインターンシップ、



TOPICS  
02

## 春の叙勲で本学関係者3名と 卒業生1名が受章されました

TOPICS  
04

平成28年春の叙勲受章者が4月29日(金)に発表され、本学関係者では瑞宝中綬章(教育研究功労)に長田雅喜元総合政策学部教授、鏡味明克元文学部教授、加藤勇夫名誉教授の3名が受章されました。また、本学卒業生で、元一般社団法人日本港運協会

副会長の伊藤正氏(昭和34年商学部卒)が旭日小綬章黄綬褒章(港湾運送事業振興功労)を受賞されました。先生方の永年にわたる教育・研究の功績と、伊藤氏の永年にわたる港湾運送事業における功績に改めて敬意を表します。



AUGUST 2016  
AGU HOT TOPICS



## 夏の研修シーズン到来

### ◆海外語学研修

本学では夏季休暇期間を利用した海外語学研修を行っています。今年もボンド大学へ21名、カンタベリー大学へ21名、ビクトリア大学へ16名、総勢58名が研修に参加します。

| <b>カナダ／ビクトリア大学</b><br>研修期間：8/7～9/4                                  | <b>イギリス／カンタベリー大学</b><br>研修期間：8/6～28                               | <b>オーストラリア／ボンド大学</b><br>研修期間：8/6～29                               |
|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 1963年に設立。キャンパスに美術館や劇場、スポーツセンターがあり、研究面では特にアジア太平洋地域の研究が盛んです。          | 英国教会によって、教員養成校として1962年に設立。世界遺産を生み出したカンタベリーの歴史と深い関わりのある大規模校です。     | 1987年にオーストラリア初の私立大学として設立。ゴールドコーストの閑静な住宅地に立地し、世界47ヵ国からの留学生で賑わいます。  |
| 4週間にわたり、他大学の日本人学生と一緒に英会話中心の授業を受講します。カナダの歴史や経済、法律などの授業やアクティビティも行います。 | レベル別に編成されたクラスで、他大学や他国の学生と一緒に受講します。大学が企画するツアーに参加してロンドンなどを訪れることも可能。 | ボンド大学付属英語学校による約80時間の英語授業と課外授業が体験できるプログラム。研修後はシドニーに立ち寄り、自由研修を行います。 |

大学紹介

コース内容

### ◆交換留学

アーカンソー大学とボンド大学へ派遣

アメリカアーカンソー大学フォートスミス校への交換留学生に裕沙也佳さん、オーストラリア・ボンド大学への交換留学生に永嶋景都さん、服部真由子さん（いずれもグローバル英語学科3年）が決定しました。

7月11日（月）に日進キャンパス学長室にて奨学金授与式が行われ、道添栄一国際交流センター所長のほか、指導教官らが見守る中、佐藤悦成学長より奨学金30万円が手渡されました。裕さんは8月から12月まで、永嶋さんと服部さんは9月から12月までの1セメスターを交換留学生として留学します。佐藤学長より激励の言葉を送られ、学生たちは「英語力の向上だけでなく、現地の文化や考え方を深く理解できるよう、いろいろなことに積極的に取り組んでいきます」と抱負を語っていました。



### ◆永平寺一泊参禅

今年も8月に永平寺一泊参禅が開催されました。学生たちは2班に分かれ、第1班（8月1～2日）は140名、第2班（8月2～3日）は133名が参加しました。この行事は、建学の精神「行学一体・報恩感謝」に基づく伝統の研修行事で、厳しく真理を追求した祖師の精神に少しでも触れることによって、参禅の経験を勉学や社会生活に活かすことを目的としています。



### 平成27年度施設整備計画に伴う寄付金 ご協力者ご芳名録（順不同）

ご寄附いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。また、ご寄附を賜りました資金は教育施設・設備等の充実に充分活用させていただきます。なお、掲載について、公開の許可をいただいた方のみとなっております。

- 1000円 宮田 輝樹
- 550円 山下 雄三
- 200円 莊 火明
- 100円 森川 博史
- 50円 竹中 敬一郎
- 30円 田口 不三子
- 30円 加納 裕之
- 20円 後藤 康人
- 20円 (医)志朋会 原齒科
- 10円 岩橋 日津留
- 10円 草深 泰宏
- 10円 鶴見 雅二
- 10円 鈴木 貴
- 10円 竹下 桂子
- 10円 加藤 克巳
- 10円 山口 彦
- 10円 古田 貴司
- 10円 長沼 幸忠
- 10円 手島 寿宏
- 10円 吉田 敬一郎
- 10円 中村 勝彦
- 10円 林 勝彦
- 10円 石川 敬也
- 10円 袴井 芳輝
- 10円 櫻井 正明
- 10円 五藤 基嗣
- 10円 架間 誠
- 10円 藤田 誠
- 10円 伊藤 行
- 10円 中村 良教
- 10円 坂井 憲一
- 10円 大野 誠
- 10円 高橋 起夫
- 10円 眞野 誠也
- 10円 中禮 哲
- 10円 園原 晋
- 10円 尾川 正
- 10円 山下 智代
- 10円 大丸 美智
- 10円 吉政 徹
- 10円 鈴木 真一郎
- 10円 高松 孝行
- 10円 成瀬 裕二
- 10円 稲葉 隆
- 10円 生垣 秀一
- 10円 大西 嘉彦
- 10円 熊崎 嘉彦
- 10円 小川 博
- 10円 今村 三
- 10円 加藤 雄
- 10円 今富 治
- 10円 立花 秀
- 10円 塚本 剛
- 10円 大塚 幸
- 10円 磯部 樹
- 10円 久保 寛
- 10円 大塚 直
- 10円 濱田 樹
- 10円 濱田 章
- 10円 塚田 章
- 10円 中田 孝
- 10円 中田 孝
- 10円 鈴木 孝
- 10円 清水 博
- 10円 谷端 智



## 混声合唱団グリークラブ 愛知総合工科高等学校の 校歌の音源作成に協力、 開校記念式典で披露

6月4日(土) 本学混声合唱団グリークラブが、今年度4月に開校した愛知県立愛知総合工科高等学校の開校記念式典に参加し、新たに制定された校歌の模範披露を行いました。今年3月、愛知総合工科高等学校の間瀬好康校長より、新しい校歌の音源を作成したいと本学の佐藤悦成学長へ依頼があり、本学混声合唱団グリークラブが音源作成に協力。5月中旬に行われた収録には間瀬好康校長も立ち会われ、その場において6月の開校記念式典に校歌披露の場があるため出席して欲しいとの依頼があり、今回式典に参加する運びとなりました。開校記念式典当日は、愛知県教育委員会委員長をはじめ、大村秀章愛知県知事、鈴木孝昌愛知県県議会議長が来賓として参加する中、グリークラブが校歌を披露。3番まである校歌のうち、1・2番をグリークラブのみで合唱し、3番からはこの式典に参加をしていた愛知総合工科高等学校の生徒ならびに教職員も加わり、式典会場の体育館いっぱいに歌声が響き渡りました。今後もグリークラブの活躍がますます期待されます。



## 大学後援会支部懇談会を 全国30カ所で開催

6月4日(土)より約1ヵ月にわたって、平成28年度大学後援会支部懇談会が行われました。全国30カ所(熊本・大分は地震の影響で中止)の各会場とも多くの皆様にご参加いただいて、貴重なご意見やご要望を多数頂戴し、非常に有意義な会となりました。いただいたご意見・ご要望は大学側で検討を行い、順次改善をさせていただきます。ご子女の成績関係や学生生活に関わること相談は随時受け付けておりますので、お気軽に後援会事務局までお問い合わせください。



## 歯学部 の千田彰教授が、 「日本接着歯学会学功労賞」 「日本歯科保存学会学功労賞」受賞

昨年12月に歯学部保存修復学講座主任の千田彰教授が、日本歯科医学会専門分科会である日本接着歯学会から「学会功労賞」を受賞。これは、同学会の運営と発展に対して永年の功労、寄与が著しい会員に対して顕彰されるものです。千田教授は平成10年に同学会理事に就任。平成17年、世界の接着歯学の専門研究者や研究機関に呼びかけて東京で開催した第2回国際接着歯学会においては、大会長として成功裡に主宰するなど、同学会の発展に多大な貢献を果たしてきました。今年6月には同じく学会の長年の貢献と功労を讃えられ、日本歯科保存学会学功労賞を授与されました。



## 日本歯科保存学会で尾関信明・ 歯学部講師がポスター賞、 大学院4年生檜山太希先生が 奨励賞受賞

第144回日本歯科保存学会2016年度春季学術大会において、歯学部歯内治療学講座の尾関伸明講師が「日本歯科保存学会松風優秀ポスター賞」を受賞。また、同講座(大学院4年生)の檜山太希先生が「日本歯科保存学会奨励賞」を受賞しました。尾関講師の研究テーマは、歯薬連携研究により遂行された「ヒト骨格筋幹細胞を用いた象牙芽細胞分化における象牙芽細胞擬態マトリックスの役割」で、本研究の発展として、現在行われている歯髄保存療法の代替となる非侵襲的な細胞移植治療の開発を目指します。尾関講師、檜山太希先生ともに、さらなる活躍が期待されます。



## 2016年度 「科学研究費助成事業」に 112件、 1億4400万円が採択

文部科学省および独立行政法人日本学術振興会による「科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)」の交付内容が発表され、本学の2016年度の採択件数は新規と継続分を合わせて112件、金額は1億4400万円となりました。科学研究費助成事業は、全国の大学や研究機関で行われている研究活動に必要な資金を研究者に助成する仕組みの一つ。採択された研究者の研究代表者・研究課題名・交付金額等の詳細は本学ホームページ(<http://www.agu.ac.jp>)で公表しています。



## 本学職務発明が 特許登録されました

本学が日本養蜂株式会社と共同出願した職務発明「ブラジル産プロポリス由来レチノイドX受容体アゴニスト活性成分」が平成28年4月15日、日本国特許庁に特許登録されました。本発明は、薬学部の井上誠教授、中島健一助教らによるもので、ブラジル産プロポリスから単離した化合物が、動脈硬化症や糖尿病・肥満症等の治療薬になるかもしれないとのこと。プロポリスはミツバチが植物の新芽や樹脂を集めて作る樹脂製混合物であり、ミツバチは巣の隙間をプロポリスで埋めることで建材として用いるのだけでなく、巣内の抗菌性を保つていると考えられています。プロポリスの成分は基原となっている植物由来し地域間で大きく異なり、サプリメントとして最もよく用いられているブラジル産プロポリスに関する研究が実を結びました。今後は日本養蜂株式会社と共同で、本発明を治療に利用していく予定です。



## 日進市大学連携講座 夏休み坐禅体験教室を開催

日進在住の方を対象にした夏休み坐禅体験教室が7月30日(土)、日進キャンパス坐禅堂で開催されました。この坐禅教室は日進市と連携して毎年行っており、今回で13年目。縁に囲まれた坐禅堂で、禅研究所の研究員から坐禅の仕方や作法の説明を受け、15分2回の坐禅を体験しました。その後禅研究所所長の岡島秀隆教授より、日常生活における坐禅の取り入れ方などについてお話があり、参加者からは「心が落ち着くいい時間が過ごせた」などの感想が寄せられました。





## 秋採用は、自分に合った 企業が見つかる可能性大!

就活スケジュールの大幅改正元年の昨年に引き続き、今年の就活生も慌しい短期決戦を余儀なくされています。ただ企業の採用意欲はとても高く、本学の内定状況は昨年に比べ大幅にアップしています。そんな中、短期決戦がゆえに「うまくいかない」と感じている学生も見受けられます。知名度の高い大手中心になってしまったり、手当たり次第受けて、企業研究不足に陥っていることが考えられます。もしもおお客様の就活がうまくいってないようであれば、視野を広げられるように協力をしてあげてください。

秋は、採用の第2ピーク。知名度はあまりないけど将来有望な企業、堅実で安定した成長を続ける企業など、魅力的な企業と出会えるチャンスもたくさんあります。大学にも多くの企業が来校し、学内でも企業説明会を開催中! 秋採用に積極的にトライすれば、選択肢がぐんと広がりますよ!

## スタートダッシュの早さが心理的な余裕を生む。

3年生向けの就職支援は、秋から本格的にはじまります。就職活動解禁の3月まで半年もあるから、もう少し先でも大丈夫!? いいえ、近頃の就活はとても複雑。早めの準備が大事なのは、いうまでもありません。秋から取りかかるべき就活準備は、大きく分けて ①筆記試験対策 ②自己分析 ③企業研究の3つです。それぞれ実際にはじめると案外時間がかかるもの。スタートが早ければそれに費やす時間が増えて、心理的な余裕も生まれます。秋学期からは各種対策講座もスタート。積極的に利用して、自信を持って就活に臨んでほしいと思います。



今回のお題

## 就活の秋

芸術の秋、スポーツの秋、過ごしやすい秋はさまざまなチャレンジに向いている季節ですが、就職活動も例外ではありません。4年生にとっては、「秋採用」に挑戦するもうひとつ踏み張りの正念場であり、3年生にとってはいよいよ就活のスタートを切る頃。希望を叶える「実りの秋」とするために、秋の過ごし方はかなり重要です。

## キャリアサポート 通信

## 知っておきたい、 就職活動のプロセス

現在の就職活動状況は、親世代の頃とは大きく様子が変わっています。企業は早期離職につながるミスマッチを防ぐため、あらゆる角度から学生を理解しようと努めています。

## 採用試験の主な流れ

- |                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| 1 エントリー        | 企業への応募／主にWEBから行う。                |
| 2 会社説明会        |                                  |
| 3 書類選考、筆記試験    | エントリーシート・履歴書<br>SPI試験や適性検査など。    |
| 4 グループディスカッション | 与えられたテーマを<br>学生数人で討論する<br>形式が多い。 |
| 5 集団面接         |                                  |
| 6 個人面接         | 1～3回程度。                          |
| 7 内定           | 多くの場合、役員面接を<br>経て内定獲得。           |

内定を得るまで少なくとも3回程度、多くて6、7回も試験があります。

## 就職活動の流れ(現4年生)



※現3年生のスケジュールはまだ発表されていないので、早めの準備が大切です。

## キャリア センター 伝言板

今後の行事予定

- 10月**
- 第3回就職ガイダンス(就職希望者は全員参加)  
エントリーシートの書き方、就活の身だしなみ、学内講座の予約方法など。  
講座期間 日進キャンパス(10/4・5・6) 名城公園キャンパス(10/17・18・19)
  - SPI模擬テスト  
実際に模試を体験し、自分の学力を把握し対策を立てよう。
  - 就活トップランナー養成講座(全10回)  
大手・難関企業を志望する人向けのグループワーク中心の講座
  - 保護者向け就職ガイダンス(3年生保護者対象)  
期 間 10月下旬 詳細はハガキにてお知らせします

- 11月**
- 筆記試験(SPI)対策講座  
採用試験で必ずといっていいほど出題されるSPI。苦手な人が多い非言語分野の対策講座を開講(全8回)。
  - ビジネス実践講座  
業界大手企業・団体を招き、業界特性を中心に説明会を開催。
  - 自己分析/自己PRの仕方講座
  - グループディスカッション講座
  - U・ターン就職ガイダンス
  - 女子学生のためのメイクアップ講座 など。

File: vol.6  
[総合政策学部]科学の目で、  
「政治」を分析!

森研究室

question

Q1

先生の研究分野を教えてください。

政治のメカニズムを  
数値で明らかにする。

政治に関する学問と聞いて、最初に何を思い浮かべますか。例えば、どうすれば政治が良くなるかを論じること。確かに必要です。しかし、政治の「良い・悪い」についての主張は個人の主観の域を出ず、水掛け論になりがちです。そうではなく、データによって政治や選挙のありのままの姿を客観的に明らかにしようと試みる学問が「計量政治学」です。政治家の政策や公約、有権者の意識など、数量的なデータに表して事実を明らかにする。客観的な結論を導き出すためには、経済学・心理学・統計学・数学などさまざまな学問で使われている手法を使い、科学の目を通して分析することが必要なのです。

## 今回の訪問先

総合政策学部

森 正 先生

## PROFILE

慶應義塾大学在学中の1989年、参議院選挙における民意の変化を、数値でクリアに解明した政治学に興味を持つ。現在は教鞭をとるかたわら、愛知県や名古屋市選挙管理委員会の若年層向け啓発活動にも力を入れている。選挙報道などの解説も多数。



question

Q2

どのような分析を行うのですか?

## 実際の選挙結果を、さまざまな視点でデータ化。

7月に行われた参院選で、森研究室では

- 1) 政治家は何を訴えたか(選挙運動)
- 2) メディアはどう報じたか(報道内容)
- 3) 有権者はどう判断したか(投票行動)

の3つの視点から参院選のフィールドワークを試みました。

このうち「選挙運動」では党首や候補者が足を運んだエリアや演説内容をデータ化し、政治家が「何を、どのように訴えたか」を調査しました。「投票行動」では有権者は一票に何を託したのか、マスメディアの実施した世論調査データを用いて分析し、その結

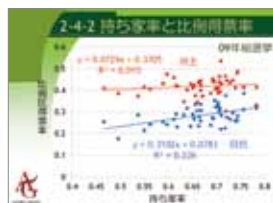
果は私が解説を務めた選挙当日の開票特別番組でも紹介されました。さらに、大学生を対象にアンケート調査を実施し、70年ぶりの選挙権年齢引き下げにともない、新たに選挙権を手にした若い有権者の政治意識についても分析しました。

ストップウォッチによる計測やパソコンへの入力など、研究は地道な作業の積み重ねですが、このように現在の政治状況を科学の目を通して分析することによって、はじめて理想の政治とのギャップが判明し、その間を埋める道が見えます。計量政治学とは、その手助けとなる学問なのです。



check!

テレビにおける選挙報道番組の検証など、森研究室ではフィールドワークが活発に行われています。



check!

学生たちはデータ分析の手法を身に付け、さまざまな政治現象の計量分析を試みています。